

# 光ビームプラットフォーム シンポジウム 2019

## ～放射光のラウンドロビン実験～

光ビームプラットフォームは6つの放射光施設と2つの大型レーザー施設の8機関で構成される、先端大型研究施設の共用を促進するネットワークです。2016年度開始の文部科学省先端研究基盤共用促進事業により2期目を始動し、施設の連携を最大限に活かす事を指針として、標準化検討、施設の連携活用、人材育成をテーマとして活動を行ってきました。本シンポジウムでは、この3年間の活動を通してデータが蓄積されてきた硬X線XAFSと光電子分光のラウンドロビン実験を中心に、軟X線XAFSと小角散乱も加えて、標準化をテーマとして検討状況のご報告と議論を予定しています。またポスターセッションでは技術相談会を併設して各機関のご利用方法などのご紹介を行います。

- 【主催】 光ビームプラットフォーム  
【協賛】 日本放射光学会、日本化学会、SPRING-8利用推進協議会  
【日時】 2019年3月1日(金) 13:00～17:45、12:30から受付開始  
終了後に会費制の交流会を別途開催  
【場所】 秋葉原 UDX 4階 Gallery (JR秋葉原駅徒歩2分)  
〒101-0021 東京都千代田区外神田4-14-1  
【参加費】 無料。但し事前に事務局まで参加登録をお願いいたします。登録締切=2月10日=  
シンポジウム終了後、別途、会費制にて交流会を開催します。会費=4,000円。  
参加登録のお申込みの際に、併せて交流会への参加の有無をお知らせください。  
【お問合せ・お申込先】 光ビームプラットフォーム事務局 contact@photonbeam.jp

2019  
3/1(金)

相談会  
併設

### 【プログラム】

- 13:00～13:10 開会の辞、来賓ご挨拶  
13:10～13:50 【招待講演】 硬X線XAFSのデータベース 北海道大学教授 朝倉 清高  
13:50～14:30 【招待講演】 光電子分光のデータベース・標準化動向  
— NIMSデータプラットフォームセンターにおける計測データの自動収集と機械可読化の取り組みの紹介 —  
物質・材料研究機構 材料データプラットフォームセンター副センター長 吉川 英樹  
14:30～17:00 【プラットフォームの活動報告】  
硬X線XAFSビームラインでのラウンドロビン実験 KEK物質構造科学研究所 木村 正雄  
硬X線光電子分光 (HAXPES) における基礎データの整備に向けた取組 あいちシンクロトン光センター 渡辺 義夫  
軟X線ラウンドロビン 立命館大学SRセンター 太田 俊明  
小角散乱ラウンドロビンの検討状況・今後の計画 JASRI産業利用推進室 廣沢 一郎  
17:00～17:45 ポスターセッション(施設紹介、共用事例・技術報告等)、相談会併設  
17:45～19:30 交流会(会費4,000円、事前にお申込み下さい)

光ビームプラットフォームを構成する機関・施設

<https://photonbeam.jp>



SAGA-LS



JASRI/SPRING-8  
(産業利用推進室)



兵庫県立大  
ニュースパル



阪大レーザー研



立命館大SR



AichiSR  
あいちSR



理科大FEL-TUS



KEK-PF